

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	◎	通信会社（営業部長）	販売量の動き	・年度末が当社の最大商戦期のため、来客数、販売数共に増加している。前年比でも増加している。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・観光による来客数が週末ごとに目に見えて増加している。春のイベント等に地元の消費者も訪れ、多くの人を楽しんでいる。春休みに入っても街の人出は多く、売上は増加している。
	○	一般小売店〔文具店〕（経営者）	来客数の動き	・毎年度末はある程度の注文があるが、前年と比べて今年は注文数が増加している。
	○	コンビニ（総務）	販売量の動き	・商品単価の上昇分が売上に反映されているが、来客数自体は減少しており、来客数の回復が課題となっている。
	○	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・過去2～3か月は非常に厳しかったが、今月は天候に恵まれて比較的順調に推移している。
	○	家電量販店（店員）	販売量の動き	・新生活準備に向けての購入が増加したのに加え、今後の価格上昇を見据えた前倒し購入が増加している。
	○	家電量販店（副店長）	販売量の動き	・前年比108%で推移している。また、春の単身者向けの需要も前月より増加している。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（館長）	来客数の動き	・前年と比べて来客数が10%以上増加し、飲食、食料品の購入及びサービスを中心に好調である。3か月前の状況より上向いてきている。
	○	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・3月は繁忙期のため単価を上げたものの、稼働が変わらず良かった。
	○	タクシー運転手	来客数の動き	・異動の時期のため、街の人出も多少増えてきた。タクシー料金値上げの影響はあるが、春の遍路シーズンがスタートしたため、冬場より良くなっている。
	○	美容室（経営者）	来客数の動き	・卒業、入学シーズンに加え今年は会社に入社する客も多く忙しい状況であった。
	□	商店街（常務理事）	来客数の動き	・商店街は中国からのインバウンド需要が減少しているものの、国内外からそれを十分に補う数の観光客が来ているため、にぎわいや活気がある。飲食店はその恩恵を受けられているものの、物販店への恩恵は少ない。物販店の売上増加に向けて、地元客の購買意欲を改善する術が必要である。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・20年の歳月を掛けてようやく形が見え始めた隣接地域の再開発が、ホテルとマンションを軸にしたものに落ち着いた。再開発イコール商業施設という定番は、中心市街地に適合しないものになってきた。この街づくりが周辺地域の集客に少しでも結び付くか見守っていく。
	□	百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・インバウンド需要は大幅減少したが、国内需要は何とか前年比でプラスである。
	□	スーパー（企画担当）	単価の動き	・商品の値上げは収まらず、原油価格の高騰などの影響もあり値上げ傾向が更に強まっている。来客数、販売数は伸びていないが、売上の増加にはつながっている。
	□	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・2月までの傾向から変わっておらず、依然として節約志向は続いている。
	□	スーパー（財務担当）	来客数の動き	・ディスカウント店の新規出店が多く、買い回りによる来客数減少が継続している。
	□	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数の減少傾向は続いている。中東情勢の不安定さから原油価格の上昇が懸念され、更なる物価の上昇が現実味を帯びてきたためシビアになってきている。
	□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・前月に引き続き、相変わらず来客数が少なく、客単価も上昇していない。
	□	乗用車販売業（営業担当）	販売量の動き	・受注停止車種が多いことによる販売制限に加え、物価高の影響により購買を控える動きがある。
□	観光遊園地（主幹）	来客数の動き	・来客数の前年同期比の推移に大きな変化はみられない。	

	□	美容室（経営者）	来客数の動き	・卒業シーズンのため、多少来客数が増加した。
	□	設計事務所（所長）	単価の動き	・建設の単価が非常に上がっており、住宅の販売等に相当影響が出ている。先行き不透明である。
	▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・収入格差が顕著になっており、客全体の購買意欲が低下してきている。為替変動と物価高が続いており、消費者の節約志向が高まってきている。
	▲	一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・年度末のため、送別用贈答商品の注文に変化はないが、お彼岸の供物や自宅用品は、値段を気にしながら購入を検討している様子がみられ、節約傾向にある。
	▲	スーパー（店長）	販売量の動き	・1人当たりの買上点数の減少が続いている。
	▲	スーパー（人事）	販売量の動き	・全般的な価格の高止まりやガソリン価格の高騰などの影響からコスト意識が高まり、生活に必要なか検討している様子がみられる。
	▲	スーパー（統括担当）	販売量の動き	・販売点数が減少しており、買い控えを感じる。
	▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・物価の上昇により売上は増加しているが、来客数と買上点数の減少が続いている。
	▲	コンビニ（商品担当）	単価の動き	・原材料価格の高騰が続くとみられる。
	▲	衣料品専門店（営業責任者）	来客数の動き	・来客数、売上共に前年と比べマイナスで推移している。中東情勢の影響による原油価格高騰の話題が多く、買い控えが生じているとみられる。
	▲	乗用車販売店（役員）	お客様の様子	・原油価格高騰も含めた物価の上昇や、不安定な世界情勢による株価下落により、先行きに不安を抱えている。
	▲	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	来客数の動き	・物価高の影響から来客数が減少しており、今後もその影響は続くと思われる。
	▲	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・石油関連の動きが影響し、人の動きが良くない。
	▲	タクシー運転手	お客様の様子	・2～3か月前と比べるとガソリン代が上がったという客の声が多かった。当県は各家庭で複数台の車を所有しているところが多く、ガソリン代で小遣いがなくなったという声も多く聞かれた。
	×	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・物価高で客足が伸びていないため、飲食店への納品は低迷している。3月は歓送迎会の時期だが、想定ほど繁華街への人出はなく、にぎやかではない。
	×	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・今年に入ってから店頭売上の不調が続いており、その不調を外商売上でカバーしている。
企業 動向 関連 (四国)	◎	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3月から夏に向けて毎年売上が増加する時期である。今年は原油価格高騰、食品の値上がり、中国からのインバウンド減少等マイナス要因がありながらも、例年どおり受注は旺盛である。売上が増加している要因としては、小売店が先の見通しが立ちにくいなかで、従来の取引先に加えて新規の取引先も探し、新しい商品を採用しているためとみられる。
	○	*	*	*
	□	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・特に変動はない。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・現首相になって景気は上向きの状況だったが、中東情勢の変化により、マインドが著しく低下した。売上が急激に減少し、前と変わらない状況まで落ち込んでいる。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・依然として公共事業の発注が少ない。
	□	通信会社（総務担当）	受注量や販売量の動き	・実績は計画どおり堅調である。
	□	金融業（副支店長）	取引先の様子	・物価は上昇しているが、客の受注状況に変化はみられない。
	□	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前回と変わらずだが、3月の異動シーズンのため、賃貸等の問合せが増加している。

	□	税理士事務所	取引先の様子	・業績が向上している顧問先がない。
	▲	木材木製品製造業（営業部長）	受注量や販売量の動き	・受注数が減少したまま回復しない。来期に向けて価格改定の交渉をしているが、他社への切替えの可能性を示唆されて思い切った交渉ができていない。
	▲	化学工業（所長）	それ以外	・中東情勢の影響により原油価格や石油化学製品の供給問題が急浮上している。今後枯渇した場合の経済への影響は計りしれない。
	▲	建設業（総務）	それ以外	・中東情勢の影響で先が不透明である。
	▲	輸送業（経営者）	それ以外	・燃料の動向が不安定である。
	▲	広告代理店（経営者）	取引先の様子	・紙やインクなどの原材料価格上昇が続いているが、取引先からは値下げ要求があり苦慮している。
	×	—	—	—
雇用 関連	◎	—	—	—
	○	*	*	*
(四国)	□	人材派遣会社（オフィス責任者）	求人数の動き	・求人数が増える時期だが、例年ほどの伸びはない。
	□	職業安定所（求人開発）	求職者数の動き	・物価高の影響などにより、生活が厳しいとの理由から高年齢者の就労意欲が高まっている。
	□	学校 [大学]（就職担当）	求人数の動き	・現時点では原油不足等の影響はまだ出ていないとみられる。
	▲	人材派遣会社（総務部長）	求職者数の動き	・求職者数が減少している。
	▲	求人情報誌（営業）	採用者数の動き	・企業の2027年春の新卒採用が実質的に終盤を迎えつつあるが、地元の中小企業では採用予定人数を満たせる見込みが立っていない。
	▲	新聞社 [求人広告]（担当者）	それ以外	・民間の景気は4月以降も下向きである。4月以降の広報の基本契約が軒並み縮小傾向である。業種は限定的だが、当県での観光需要は好調とみられる。
	×	—	—	—